

2024 年度(令和 6 年)

事業計画書

社会福祉法人 福寿会

## 目次

1	法人理念 .....	2
2	基本方針 .....	3
3	理事会及び評議委員会の開催.....	4
4	施設概要 .....	5
5	介護部門 .....	6
(1)	入所・住居系.....	6
①	特別養護老人ホーム .....	6
②	ショートステイサービス.....	9
③	グループホーム アクール .....	10
④	軽費老人ホーム .....	11
⑤	サービス付き高齢者向け住宅 .....	11
(2)	通所系 .....	11
①	デイサービス .....	11
(3)	訪問系 .....	12
①	訪問介護ステーション .....	12
②	訪問リハビリテーション.....	12
(4)	居宅介護支援事業所.....	13
(5)	配食サービス.....	13
6	医療部門 .....	15
(1)	平城園診療所 .....	15
(2)	あきしの整形外科クリニック .....	15
7	保育部門 .....	16
(1)	登美ヶ丘マミーズ保育園 .....	16
(2)	福寿会マミーズ保育園 .....	18

## 2 基本方針

令和5年度のテーマはアフターコロナ、経営基盤の確立、人材育成でした。

アフターコロナについては、各種イベントや介護施設の面会の再開、地域交流の活性化を進めて参りました。介護施設・保育施設での各イベントを再開し日常を取り戻すべく注力し、また、介護施設の面会も再開いたしました。地域交流の活性化を図るべく、地域の老人クラブへの参加を始めました。感染症対策の方針転換後にも、コロナ、インフルエンザ等の感染症の発生はありましたが、感染の拡大は最小限に抑え込むことが出来ています。引き続き、感染症対策を講じながら業務に取り組んで参ります。

経営基盤の確立については、利用契約の獲得を目的とした立場である相談員の組織化、各事業の予算管理の組織化を行いました。しかしながら、基盤の確立までは至っておらず、引き続き注力して参ります。また、令和5年度中に事業開始した、グループホームアクール、あきしの整形外科クリニックの利用者は増加傾向にあります。グループホームは単月黒字化しました。あきしの整形外科クリニックは引き続き単月赤字ながら、着実にご利用者数が増加しており、年度内の単月黒字を図ります。また、年度中に新事業としてサービス付き高齢者向け住宅グレイス福寿、通所リハビリテーションの開所を計画しています。各事業の稼働に注力して参ります。

人材育成については、オンライン研修体制の強化、全体研修の再開を行いました。また、外国人介護職員の受入れを開始しました。学びの場の拡充と同時に、人に教える機会を創出することで育成に繋げて参りました。

令和6年度のテーマは地域貢献とします。令和5年度に取り組んだ、ご利用者の生活の質の向上、経営基盤強化、人材育成は引き続き重要な課題であると認識しています。令和6年度は、地域交流を通じたご利用者の生活の質向上、地域循環を意識した経営基盤構築、地域貢献を通じた人材育成等、地域貢献という目的意識を持った各活動により組織の発展を進めて参ります。

## 4 施設概要

### 施設 1

名称	平城園	住所	奈良市秋篠町 1567
実施事業	事業所名		
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム平城園		
ショートステイ	平城園ショートステイ		
グループホーム	グループホームアクール		
サービス付き高齢者向け住宅	ヴィラ秋篠		
デイサービス	奈良デイサービス		
デイケア	平城園デイケア（名称仮）		
訪問介護ステーション	平城園ホームヘルプステーション		
訪問リハビリテーション	平城園訪問リハビリテーション		
居宅介護支援事業	平城園在宅介護支援センター		
配食サービス	福寿会配食サービス		
内科診療所	平城園診療所		
整形外科診療所	あきしの整形外科クリニック		
企業内保育所	福寿会マミーズ保育園		

### 施設 2

名称	ならやま園	住所	奈良市山陵町 1085
実施事業	事業所名		
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームならやま園		
ショートステイ	ならやま園ショートステイ		
デイサービス	ならやま園デイサービスセンター		
訪問介護ステーション	ならやま園ホームヘルプステーション		
居宅介護支援事業	ならやま園居宅介護支援事業所		
軽費老人ホーム	ケアハウス ニューライフならやま		

### 施設 3

名称	登美ヶ丘マミーズ保育園	住所	奈良市中登美ヶ丘五丁目 34-1
実施事業	事業所名		
認可型保育所	登美ヶ丘マミーズ保育園		

- 利用者・家族に安心して頂ける看取り介護の提供を行う。
- 褥瘡発生予防、発生時の早期対応の体制を整え援助を行う。
- 介護職員との連携による医療的ケアの実施。
- 看護実習施設として、看護学生の実習を受け入れ人材育成に取り組む。

➤ 機能訓練

- 利用者及び家族の意向を尊重し、主観的及び客観的評価を基に個別機能訓練計画書を作成する。
- 身体機能の維持・向上の為に科学的根拠に基づいた機能訓練を実施する。
- 多職種連携の下、「身体機能」「生活機能」の維持・向上を図る。
- 個々の日常生活動作能力に応じた介助を行い、残存能力を発揮する事で身体機能の維持・向上を図るよう、介助方法の指導・伝達を行う。
- 体動が困難な利用者には適切なポジショニングを行う。関節拘縮、褥瘡予防を図り、より安楽な姿勢で過ごせる環境調整を行う。

➤ 栄養管理部門

- 施設は利用者の生活の場である事を意識し、家庭的で各個人の嗜好も考慮し、旬の食材を盛り込んだ行事食、お誕生日食、選択食、好み食の実施により季節の移り変わりや、生活の中に変化と楽しみのある食事を提供していく。
- 給食会議等で、職員との連携を強化し、ニーズの把握に努める。又、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、防止対策を行い、フロアごとのランチパーティーやおやつパーティーなど、楽しんで頂けるサービスを実施する。
- 栄養ケアマネジメントの実施、療養食の提供により利用者の栄養改善に取り組んでいく。
- 非常食について、すべての職員が内容を把握して、いざという時に活用できるように備える。
- 企業内保育所で子供の成長には個人差が大きい為、それに伴った食事を提供できるよう保育園の食事の見直しを行う。

➤ ボランティア部門

- 令和5年度はボランティアを受け入れ、少しずつだが活動を再開することができた。利用者の日常の中に楽しみや癒しの場となるサービスが増えるよう継続した活動に努める。

➤ 介護サービス支援室

➤ 機能訓練

- 利用者及び家族の意向を尊重し多職種連携の基、その人らしい生活を送れるよう、また安全安楽に過ごせるよう「身体機能」「精神機能」の維持・向上を図る。
- 個々の日常生活動作能力の維持・向上を図れるよう、介護士と連携し「生活リハビリ」のプランを決定する。また状況に応じて「生活リハビリ」の見直しを行う。
- 多職種連携を行い介護業務支援ソフト「ほのぼの」を使用し「個別機能訓練計画書」を作成する。
- 主観的及び客観的評価を行い科学的根拠に基づいた訓練を行う。
- 個々の日常生活動作能力に応じた介助を行い、残存能力を発揮する事で身体機能の維持・向上を図れるよう介助方法の指導・伝達等を行う。

➤ 栄養管理部門

- 栄養ケアマネジメントの実施や療養食の提供により、多職種協働で利用者の健康を維持して頂けるよう取り組む。個々の利用者の嚥下状態や身体状況に適した食事や嗜好を考慮した食事の提供に努める。
- 喜ばれる食事の提供に努める。家庭的で季節感のある食事や、日常生活に変化や楽しみを持って頂けるよう、行事食、誕生食（1回/月）、好み食（1回/月）、選択食（1回/週）の提供を行う。感染症の状況を見ながらおやつレクリエーションを実施する。
- ミールラウンドや給食会議、職員との情報交換等により、利用者の嗜好や嚥下状態等を把握し食事内容の向上に努める。
- 食中毒予防や感染症対策など、安全な食事の提供に努める。研修会への参加や施設内食中毒予防研修も行う。
- 非常災害時に備えて非常食を使い捨て容器と共に3日分備蓄し、無駄なく入れ替えを行う。非常災害時に全職員が活用出来るように備える。

➤ ボランティア部門

- 令和5年度はケアハウスやデイサービスでのイベントや移動スーパーに関しての手伝い、利用者のおやつ販売などの援助に加え、慰問の受け入れも再開することができた。引き続き利用者を癒せる援助を行ってきたい。

② ショートステイサービス

a 平城園ショートステイサービス

- ▶ 地域に根付いたホームづくり
  - 開設後、定期的に運営推進会議を開催している。引き続き運営推進会議を通して、ホームの情報を発信するとともに、地域とのつながり、特に自然災害発生時における地域との連携体制の構築に努める。
- ▶ 安定した施設運営を目指す
  - 法人一丸となり新規職員の雇用を進めることで、2 ユニット目の早期開設、2 ユニットの安定稼働（18 床の満床）を目指す。

#### ④ 軽費老人ホーム

ケアハウス ニューライフならやま

コロナウイルス感染が2類から5類に分類されたことにより、生活環境の改善を検討し少しずつ日常生活を取り戻して頂けている。しかし、感染対応により利用者のADL及び活力の低下が見られ、以前のような集団での活動が限られてきていることから、今年度は個別又は少人数での対応を取り入れていきたい。

自立支援を目標とし、生活環境を整えご希望に応じた生活の場として、充実した日常生活を楽しんで頂けるような援助に心掛ける。

(毎月行事に追加として)

- ・ 季節行事のイベント開催（外出等も含む）。
- ・ 個別対応による外出企画。

#### ⑤ サービス付き高齢者向け住宅

a サービス付き高齢者向け住宅ヴィラ秋篠

- ▶ コロナ以前に実施できていたサービスやイベントについては第一四半期のうちにすべて復活させる。
- ▶ また、より発展的な内容に昇華できるように、上半期の内に職員一丸となって取り組む。ケアハウスやアクールとの連携についても同様に進める。
- ▶ 大規模災害におけるBCPについては訓練の強化を含め従来の内容を第一四半期の内に見直し、より現状に即したものを第三四半期までにマニュアル化し整備する。
- ▶ 地域や入所者のニーズを正しく拾い上げ、支援につなげられるよう、配置職員間の体系づくり、育成に努める。

### (2) 通所系

#### ① デイサービス

a 奈良デイサービスセンター

- ▶ 営業力の強化
  - 各部署の相談員と連携し、デイサービス以外の部署状況を把握し説明できる

画に基づいた訓練を行い、QOLの維持・向上に努める。

- 利用者や家族に対し、療養上必要とされる事項等について丁寧に説明する。
- 医師・介護支援専門員と連携し、地域包括ケアの一員として利用者の日常生活の自立と社会参加を促進する。

#### (4) 居宅介護支援事業所

##### a 平城園在宅介護支援センター

- 令和6年度の目指すべき方向性

今年度は令和5年度から目指してきた方向性（ケアマネジャー各自が公正中立、質の高いケアマネジメントを提供）を継続し、各地域包括支援センターとの連携を深めながら、特定事業所加算Ⅱを算定する事業所としての信頼を維持し、選ばれる居宅介護支援事業所のケアマネジャーとして、各自のさらなるスキルアップと人材育成に努める。と同時に、ケアマネジャー各自のメンタルヘルス対策を充実させ、心身ともに健康でやりがいを持って働き続けられる環境を整える。

##### b ならやま園居宅介護支援事業所

令和6年度の制度改正に伴い、加算要件に見合った居宅介護支援を積極的に行っていく。又、医療と介護の連携の質をより一層高めるとともに、ヤングケアラー・障害者・生活困窮者・難病患者等、他制度に関する知識を深めながら、利用者が適正にサービスを選択していける利用者本位の支援を継続する。

- 地域包括支援センターとの連携を更に深め、支援困難ケースの積極的な受託に努める。
- 業務の効率化および情報共有に努め、居宅介護支援事業所としてのケアマネジメントの質の向上を目指す。
- 公正中立な公正中立なサービスの選択および情報の開示等により、居宅介護支援の適正化を図るとともに、利用者の意思決定支援を尊重し利用者本位の支援に努める。
- 認定調査業務の受託（ケアマネ1人当たり月4件を目指す）

#### (5) 配食サービス

- 事業を継続していくために給食業者との話し合いを含め検討を重ねる。
- 市の委託業者として、本業を継続させるために現状を正しく伝え、話しをする場を重ねるように努める。
- 給食業者とはより綿密な連携を構築できるよう連絡方法等の見直しを図り、給食会議への配食サービス担当者の出席も検討を進める。
- 新規獲得のための営業活動については、コーディネーターの教育という点か



## 6 医療部門

### (1) 平城園診療所

利用者の視点に立った気配りができる、信頼される医療を提供します

- ▶ 法人事業所の利用者と職員の健康管理及び疾病治療・予防に努める。  
管理医師、診療所看護師と特養看護師が連携し、利用者の日常的な回診を実施し、重症者への対応は関係医療機関と連携を図りスムーズな対応を行う。各種ワクチン接種などの感染予防、定期健康診断の実施による疾病の早期発見に努める。職員の健康管理について、産業医と衛生管理者との連携を図り、法人全体の衛生向上に貢献する。

### (2) あきしの整形外科クリニック

- ▶ 地域の救急・整形外科診療のニーズにこたえるとともに高齢者の視点に立った信頼される医療の提供を目指します。
- ▶ 受診してよかったと提供していただけよう患者さんの視点に立った医療を提供します
- ▶ 開設予定のデイケアと連携を図りながら高齢者の健康寿命を援助します。

## ②食育・給食

- ・マミーズ農園で野菜を育て、収穫した野菜は給食で頂く。「食べ物への興味」と「感謝」の気持ちを育む。

## ③安全・安心の園

- ・子どもの命を守ることを最優先にする。
- ・危険なことに気付いた時は子どもの危機回避を優先し、相手に伝える（不適切保育）
- ・危険個所の点検を日々行い、危険個所はすぐに対策を講じる。
- ・毎月1回の避難訓練を行い、災害時・緊急時・不審者対応に冷静かつ迅速に行動できるようにする。

## ④外部講師の招聘

- ・外部の専門講師を招き、英語教室・体操教室・サッカー教室を行う。
- ・課外保育として放課後イングリッシュスクール・ダンス教室・スポーツ教室を行う。

### ▶子育て支援

- ・園庭開放（地域の未就園児）、マミーズ広場（0歳児親子・妊婦）の実施。

### ▶地域交流

- ・法人高齢者施設との交流
- ・国際中学校の保育実習、国際高校家庭科クラブとの交流
- ・地域のイベントへの参加

### ▶保健衛生

定期健康診断（年2回） 歯科検診（年1回） 眼科検診（年1回）  
職員定期健康診断（年1回） 検便検査（年12回） 身体測定（年12回）

### ▶年間会議・研修

職員会議（月1回） 給食会議（月1回） 処遇会議（月1回）  
リーダー会議（月1回） 園内研究会（各クラス1回） 語り合い研修（月1回）

### ▶保育行事と主旨

- ・入園式・卒園式・誕生日会：子どもの成長の節目を祝う行事
- ・七夕・節分・もちつき・ひな祭り：日本に伝わる伝統的な行事
- ・運動会・夏祭り・作品展・こども発表会・保育参観：成果や成長を発表する場
- ・遠足・野菜育て・芋ほり・イベント参加：体験や経験を広げる場
- ・高齢者や中学・高校生との交流：社会性を育てる。優しさや思いやりを育む。

